

開催日時：令和6年4月10日（水） 13時00分から13時25分まで

開催場所：A203-204会議室

出席者：佐藤市長、高田副市長、熊谷教育長、清水総務部長、林企画部長、小倉リニア推進部長、牧島リニア駅周辺整備担当参事、橋本市民協働環境部長、下井ゼロカーボンシティ担当参事、林福祉部長、山崎こども未来健康部長、市瀬産業経済部長、今産業経済部参事、井田建設部長、佐藤建設部参事、岡本危機管理部長、佐々木上下水道局長、齊藤市立病院事務局長、福岡会計管理者、筒井議会事務局長、秦野教育次長、佐々木財政課長、小室秘書課長、滝沢南信州広域連合事務局次長、澤柳企画課長

会議内容

1 理事者あいさつ

<市長>

- ・リニア開業が10年以上先になるという状況に振り回されないように、地に足の着いたまちづくりをしていくことが大事である。まずは令和6年度の様々な事業を着実に実施する。
- ・引継ぎを受けたばかりで、部局等の様子がわからない部課長もいるかと思うが、市民から見れば4月1日からその部局の部課長である。できる限り早く自分の仕事の様子を掴んでほしい。
- ・年度の変わり目は職員も不安定になるため、目配り気配りをお願いしたい。

<副市長>

- ・令和6年度の大きな取組としては、いいだ未来デザイン2028後期計画の策定、全庁業務量調査と業務改善、文書管理システム、財務会計システムの更新に向けた準備を行っていくが、それぞれを個別で行うのではなく、中期計画を振り返り、全体として私たちの仕事の仕方などを見直しながら次に向かっていく。
- ・その中の一つにすべての事務事業の見直しがあり、単に財政状況を良くするという成果を求めるとでなく、庁内連携や人員配置、人員確保といった様々な面で職員のやる気につながる結果が得られるよう、全職員が参加できる形を検討している。
- ・具体的には4月12日の行革本部会議で事務局案を提示し進め方を整理して、5月の部長会議で全体像を示したい。
- ・様々なことが重なる年度となるが、予算編成に向けて仕上げるというのではなく、じっくりと協議していくことが大事である。

<教育長>

- ・4月4日に市内小中学校の入学式が無事に終わり、高校についても明日の飯田女子高等学校通信制の入学式でほぼ全ての入学式が終わる。
- ・新一年生は、昨日の大雨と大風の中で先生が助けに行かないと安全な登下校が困難だったり、登校したが泣いていて学校に入ることができない状況があったりする。教育委員会においても不慣れな様子が見て取れ、困ったときに助けを求めたり、教えてくださいと言えることが、こどもも大人も大事だと感じた。

2 報告事項

(1) 飯田市国民保護計画の変更について

◇趣旨

- ・飯田市国民保護計画の変更について報告する。

(2) 令和6年度能登半島地震に伴う被災地支援について

◇趣旨

- ・令和6年度能登半島地震に伴う被災地支援について報告する。

◇意見

(市長)

- ・各部局において職員の派遣に配慮、協力いただいていることに感謝する。
- ・令和6年3月25日に実施された派遣職員の報告会や復命書は、それぞれの職員の気づきや飯田市であった

らどうかという視点、日ごろから気を付けるべきことなどが報告され、非常にいい内容だった。復命内容をグループウェアに掲載して全職員が読めるようにすること。

3 その他、連絡事項

(企画部長)

- 信州大学で地域連携や協働研究を進めるために自治体職員を連携コーディネーターに委嘱する制度があるが、3日間の講習で資格を取得できる。信州大学の産学官地域連携課とつながることができ、課題解決に向けて相談できる関係性が構築できる。
- それぞれの部局で資格取得の検討をお願いしたい。

(市長)

- 部課長会の際に現場を見に行こうという話をしたが、各部局で見とくべき場所があれば教えてほしい。あるいは、部課長が現場に行く際に声をかけてほしい。

4 閉会